

平成25年10月4日

尾張旭市総合計画審議会第3部会 報告 (安全安心・産業振興・行財政運営)

1 開催日及び会議概要

(1) 第1回

ア 開催日 平成25年7月11日(木) 14:00~16:05

イ 会議概要

(ア) 基本構想(案)について

(イ) 政策4について

(2) 第2回

ア 開催日 平成25年8月22日(木) 10:00~11:50

イ 会議概要

(ア) 政策6について

(イ) 政策8について

(3) 第3回

ア 開催日 平成25年8月28日(水) 14:00~15:10

イ 会議概要

(ア) 基本構想(案)について(政策の大綱)

(イ) 部会のまとめについて

- ・各回とも、活発に審議が行われ、各委員から意見や提案をいただきました。それらの意見や提案の概要は、別紙のとおりです。

2 部会総括

- ・当部会の審議範囲については、大きな修正点や疑義はなく、全体的には概ね適切であり了承できます。
- ・当部会では、全体的に良くまとまっており、人口を増やすという積極的な総合計画で評価できるという意見が出されました。
- ・土地利用や産業分野において、本市の立地や状況を踏まえた表現にすることや、今後さらに重要度が増す情報発信に軸足を置くこと、積極的に新しい取り組みを進めていくことなどが読み取れる記載を検討してください。
- ・部会を通して委員から出された意見や提案に対して、市は、前向きに取り組んでください。

総合計画審議会第3部会 概要

(安全安心、産業振興、行財政運営)

1 基本構想（案）について

(1) 将来都市像について

- これまでの都市像は少し堅苦しいイメージの言葉が使われていたが、今の都市像（案）は分かりやすくて良い。
- 都市像がある程度定着すれば、切り替えても良いので、過去にこだわらず決めていけば良い。
- 都市像は、短ければ良いとは思わない。将来の都市像は文字で見ることが多いので長くても問題ない。
- 全国的に人口が減少するなかで、尾張旭市は人口を増加させる「攻め」の総合計画を策定しようとしているが、その戦略を「住みよいまち」という都市像でソフトに表現しており、評価できる。
- 都市像の説明として4つの言葉に分解した説明が掲載されており、それぞれ明瞭でわかりやすい。
- 都市像の説明の中の「元気」は、健康だけでなく産業の振興も含まれるものならば、「企業、商店」と具体的に明示すると「農業や勤労者」が含まれていないような誤解を招くので、「産業の活気があふれる」という視点から表現を検討した方が良い。

(2) 土地利用構想について

- 平子町東地内を、先端技術の事業所を誘致する地区を工業系として区分し、土地の有効利用を検討してほしい。
- 稲葉地区や城山公園南側、旭ヶ丘地内の農地は市の貴重な財産であり、残すよう区分するべきである。

(3) 政策の大綱について

ア 政策4について

- 警察署に関する記述が無いが、市の総合計画で警察署の業務を取り扱うことは難しく、又、施策・基本事業の記述からも読み取れると思う。
- 部会で議論を行った内容が網羅された表現がされていると感じる。

イ 政策6について

- 農業について、尾張旭市の地域の特性のイメージが湧きにくいと思うので、農地が持つ景観や保水能力などの多面的機能を生かした、大都市近郊の立地を活かした農業の振興という記載にしてはどうか。
- 大綱に、就労支援に関する内容を記載したほうが良い。

ウ 政策 8 について

- 行財政運営の進め方と職員の意識の転換を図り、財源や市民ニーズといった視点だけで事業を計画するのではなく、積極的に市から新しい事業を提案し、市民に説明していくことも重要である。
- 市民では無いかたに尾張旭市の魅力をどのように伝えていくかということが重要なので、その部分が読み取れるような記載にした方が良い。
- 政策の大綱の中に、今まで無かった項目などの、本計画の売りとなる部分をちりばめておく必要がある。

2 政策 4（安全安心）について

(1) 施策 4－1 「防災・減災対策の推進」

- 尾張旭の過去の災害履歴やハザードマップなど、市民に対する情報の発信をもっと行う必要がある。
- 尾張旭が災害に強いまちであるということを市民にPRすることも重要である。
- 防災・減災については、自分たちのことは自分たちで守るという考え方が大切であるため、市民の日頃の意識を高めていくことが必要である。

(2) 施策 4－2 「消防・救急体制の充実」

- 普通救命講習については、社会福祉協議会やシニアクラブなどと連携して、使う確率の高い高齢者の方を対象に講習を実施していくと良い。

(3) 施策 4－3 「交通安全対策の推進」

- 基本事業として高齢者の交通安全対策を進めていくことは重要であるが、どのように対策を行うのかを考える必要がある。

(4) 施策 4－4 「防犯対策の推進」

- 犯罪抑止効果があるとされる防犯パトロールなどは、自治会活動の一環であり、また地域のつながりが犯罪抑制に効果があると考えられるので、多くの市民に自治会に加入していただく仕組みが必要である。
- 施策 7－1 の審議の際には、当部会の意見を参考意見として伝えてほしい。

(5) 施策 4－5 「消費者・生活者の安心の確保」

- 消費者トラブルの相談窓口について、情報発信を積極的に進める必要がある。

3 政策6（産業振興）について

(1) 施策6-1「商業の振興」

- 現状と課題に地域商店街の活性化と記載されているが、本市の状況に合わせて、発展会に特化した記載の方が良い。
- 日常生活に必要な商品を市内で買う市民の割合を向上させるためには、発展会が、市民生活に密着したサービスを提供できるかがポイント。

(2) 施策6-2「工業の振興」

- 地域特性を生かした工業では市民に伝わらないので、先端技術の育成など、もう少しストレートに記載した方が良い。

(3) 施策6-3「農業の振興」

- 尾張旭市のめざす都市型農業は、先祖伝来の田んぼが認定農業者によって保全されていることと、都市住民が農業に触れ合う機会が豊富にある環境をめざすことだと思う。

(4) 施策6-4「勤労者支援・就労支援の充実」

- 地域職業相談所を利用して就職した割合が7%であるのは、低すぎると思う。
- 成果指標の「勤労者施設以外の福利厚生メニュー利用者数」について、尾張あさひ苑で企業の研修を行うことなどにより、成果向上の余地があるのであれば、目標値を再度検討した方が良い。
- 若い世代のニート対策が、今後問題になってくる。表に出にくい根深い問題であり、潜航して掘り起こすなど課題として意識することが必要。

4 政策8（行財政運営）について

(1) 施策8-1「開かれた市政の推進」

- 市の魅力の発信は、極めて重要であり、いかに高い目標を掲げて、きちんと取り組むことができるかが重要になる。
- シティセールスを担当するセクションの人員を手厚くするなどして、取り組みを進める必要がある。
- 例えば、情報発信のチャンネルの数を成果指標に掲げることを検討すると良い。情報発信の手段がいくつあるかをカウントして、倍増させるなどといった目標があると良い。

(2) 施策8-2「行財政運営の推進」

- これからは、行財政改革の意識を高めると同時に、人口を増やす、税収を増やす、償却資産を増やすことに戦略的に取り組むことができる職員を増やす必要がある。

(3) 施策 8-3 「組織・人事マネジメントの充実」

- 現状と課題において、市民の視点で考える意識の醸成が必要とあるが、同じくらい行政経営の視点も必要。